

## ◆既に入力済みの伝票で仕入先情報を再読み込みする方法

(画面例はすべて『PCA 商管』を使用しています)

既に入力してある仕入伝票などで、後から変更した仕入先の情報が反映されない場合、仕入先の情報を再読み込みすることで伝票を削除することなく仕入先の情報を反映させることができます。

以下をご覧になり伝票一枚ずつ呼び出して修正してください。

仕入先情報の再読み込みが有効なパターンとして以下が考えられます。

- 仕入伝票を登録した後に「仕入先の登録」で「支払先」をつけた場合
- 仕入伝票を登録した後に「仕入先の登録」で「消費税端数」の設定を変更した場合
- 仕入伝票を登録した後に「仕入先の登録」で「金額端数」の設定を変更した場合
- 仕入伝票を登録した後に「仕入先の登録」で「消費税通知」を「免税」、または「明細単位」から変更した場合
- 仕入伝票を登録した後に仕入先の登録で「消費税通知」を「免税」、または「明細単位」へ変更した場合

※「仕入伝票毎」⇔「明細書一括」を変更する場合は、支払明細書の計算時に支払先の情報をもとに消費税の再計算をしますので、仕入先の再読み込みは必要はありません。

### 【操作手順】

- ① メニューの「前準備」－「取引先」－「仕入先の登録（個別式）」を起動し、[支払] タブをクリックして、設定が正しいかを確認します。

正しく設定されていない場合は、修正し、登録してください。

基本	先方担当者	仕入	支払	振込	コメント
支払先コード	0003	株式会社 チェック 本社			
支払締日					
買掛金残高	0	未払金残高	0		
金額端数					
消費税端数					
消費税計算					

- ② 「販売管理」－「仕入」－「仕入伝票入力」を起動し、該当の伝票を呼び出し、[仕入先コード]を一旦別のコードにします。別の仕入先が表示されたのを確認後、再度正しい[仕入先コード]を選択し直し、登録します。

The image displays three sequential screenshots of the '仕入伝票入力' (Purchase Invoice Input) software interface, illustrating the process of changing the supplier code. Red boxes and arrows highlight the changes in the '仕入先コード' (Supplier Code) field.

**Screen 1 (参照):** The '仕入先コード' field is set to 0031. The supplier information is for '株式会社 チェック 東支店' (Check Co. Ltd. East Branch) with address '102-0072 東京都千代田区飯田橋5丁目5-505' and contact '松下 幸次郎' (Yoshikazu Yamashita).

**Screen 2 (参照):** The '仕入先コード' field is changed to 0001. The supplier information is for '株式会社 Y2' (Y2 Co. Ltd.) with address '112-0001 東京都中央区本町2丁目1-1' and contact '安藤 吉雄' (Yoshihide Yasuoka).

**Screen 3 (修正):** The '仕入先コード' field is changed back to 0031. The supplier information is for '株式会社 チェック 東支店' (Check Co. Ltd. East Branch) with address '102-0072 東京都千代田区飯田橋5丁目5-505' and contact '松下 幸次郎' (Yoshikazu Yamashita). The '登録' (Register) button is highlighted with a red box.

以上の作業で今現在の仕入先の情報が伝票に反映されます。

- ③ ①で確認した「前準備」－「取引先」－「仕入先の登録」で設定した内容が、②で修正した伝票に反映しているかを確認してください。

作業は以上になります。